

# 月刊 アカサス ニュース

第16号 1997(平成9年). 9

「アカサス」とは、古代ギリシャ・ローマに由来し、金沢大学の校章にも使われている植物の名称(和名「ハアザミ」)である。

8月号は夏休みのため休刊しました。

巻頭言

## 次なる歩みに当たって (再任に際して)



学長  
岡田 晃

変則的な気候となった今年の夏が過ぎ、秋の気配も迫りつつあるが、9月22日から再び学長に就任することになった。4年前のように体中をみなぎったあの緊張感、あるいは未知というよりも経験したことのない新しい仕事に飛び込む時に覚える期待感や不安感は、今回そう強くは感じないにせよ、次の新しい歩みは確実に始まっていく。

総合移転第 期計画事業に係る基本設計には、平成8年5月から取り組んでいたが、いよいよ平成9年度には調整池の築造、河川改修等に着手する。そして、平成10年度以降に敷地造成、建物建設、環境整備等が順次行われ、やがて薬学部、工学部、自然科学研究科、がん研究所などが西キャンパスに移転してくる。また、宝町キャンパスの再開発が、附属病院の改築を手始めとして、九州大学などと時を同じくして、これも平成9年度に始まることになっている。明年度からの3年間は、行・財政改革の年として、これまで大学が遭遇したことのないような厳しい冬の時代を迎えるだけに、その前によく運良く滑り込んだものだという感慨はあるにはあるが、事業がうまく継続されていくように、これからも気持ちを引き締めなければと考えている。

平成11年には開学50周年を迎え、記念式典、記念展示などの数々の行事が企画されているが、特に50年史の刊行や50周年記念エリアの造成の如く、後の人々にも役立つような事業が見事に完成することを心から祈念している。

私はこの2年間に、若い世代の教職員の人々によって、大いなる夢を盛り込んだ「50年後のキャンパス構想」を打ち立ててもらいたいと考えている。新しい歴史をつくることに参加し、それが未来へと確かに引き継がれていくことを願っているのである。

今月の表紙写真

Cover Photo

## 小杉 隆文部大臣が来学

(関連記事は2ページ)



角間キャンパスの概要について説明を受ける小杉文部大臣(右)  
= 8月1日夕刻、学長室で



本学来訪前に「第10回ジャパンテント」の開会式で挨拶する小杉大臣  
= 8月1日午後、金沢市文化ホール(金沢市高岡町)で 写真提供: 北國新聞社





# 小杉 文相が角間キャンパスを視察 現職では中島文相以来9年ぶりの訪問



総合移転第 期用地を眺めながら質問をする小杉文部大臣(右)  
= 8月1日夕刻、角間キャンパスD駐車場で

8月1日、金沢市文化ホールで行われた「第10回ジャパンテント 世界留学生交流・いしかわ'97」に出席した小杉文部大臣は、その後、本学の角間キャンパスを訪れた。

学長室で岡田晃学長らから総合移転の概要等について説明があった後、キャンパス内の視察に移り、実際の建物配置や今後予定されている第 期計画事業に関する説明を受けた。また、理学部化学科の実験室を訪れ、担当教官の案内で実験装置等を見学した。

当日は、本学に引き続いて北陸先端科学技術大学院大学を訪問し、翌日には旧・城内キャンパスである金沢城跡にも立ち寄った。

なお、これらの視察には、文部省のたか ためしげ 高 為重大臣官房審議官及び文相秘書官のとま きわ 常盤 豊氏が随行した。

関連の写真もう2枚を  
表紙にカラーで紹介



本学訪問の記念にサインをする小杉大臣  
= 同上、学長室で



理学部教官と話を交わす小杉大臣  
= 同上、理学部化学科実験室で





## 北陸3県高等学校長ら約100人を招いて “入試懇談会”を開催

7月24日、事務局大会議室で「平成9年度 北陸3県高等学校長等と金沢大学との入試懇談会」が開催された。

今回の懇談会では、本学側から平成10年度入試の概要について説明があった後、高等学校長側から「学部説明会をすべての学部で実施してほしい」、「英語の試験にリスニングを採用できないか」などの要望や意見が出され、大学入試への関心の高さをうかがわせた。



高等学校側の意見を述べる懇談会参加者  
= 7月24日午後、事務局大会議室で

## 薬学部・工学部で“学部見学会” 高校生が研究室等を熱心に見学

本年度の「工学部見学会」は8月4日に小立野キャンパスの同学部で、また「薬学部1日体験入学」が翌5日に宝町キャンパスの同学部で行われた。このうち「工学部見学会」には、北陸3県から約400人の高校生が集まり、学部の概要説明を受けた後、ロシアタンカー事故で問題となった流出重油の油水分離実験等を見学した。また、「薬学部1日体験入学」にも同様に、北陸3県の高校生約140人が参加し、「薬学とは何か」の講義や各研究室での実験を体験した。

参加した高校生らは大学での研究の一端や最先端の設備を目の当たりにし、各学部に対する興味と認識を深めていた。これらの催しは、自分の適性や希望を改めて見つめ直し、これからの進路を考えるのに良い機会となっている。



界面活性剤を用いた油水分離実験に興味深げに見つめる高校生たち  
= 8月4日午後、工学部研究室で



慣れない手つきで実験に取り組む高校生  
= 8月5日午後、薬学部研究室で



うらぼんえ

# 医学部が「献体者御遺骨返還式」、 「献体者盂蘭盆会法要」 などを実施

このほど、医学部十全講堂(宝町)において、医学教育のために献体された故人に係る「献体者御遺骨返還式」が約550人の関係者の出席のもと、しめやかに挙行された。

当日は、献体者に対する「文部大臣感謝状伝達式」や病理解剖献体者を含めた186名の方々の御冥福を祈る「第95回合同慰霊祭」も併せて執り行われた。

また、7月11日には、中西功夫医学部長をはじめ教職員が多数参加して「献体者盂蘭盆会法要」が行われた。



「献体者盂蘭盆会法要」の様子  
=7月11日午前、金沢大学医学部解剖体墓地(卯辰山)で



しめやかに挙行された「献体者御遺骨返還式」  
=6月21日午前、医学部十全講堂で

# 留学生13名に「コマツグリーン基金」 奨学金を給付

このたび、私費外国人留学生に対して支給される「コマツグリーン基金」の奨学生13名が決定され、8月7日、大場義樹学生部長から一人ひとりに採用通知書が交付された。

この奨学金は、建設機械メーカーの(株)小松製作所から本学の留学生支援のために提供された寄附金を活用しているもので、交付が決定した留学生は、喜びをかみしめていた。



大場学生部長から奨学生採用通知書を渡される留学生  
=8月7日午後、本部棟学生部長室で

# いじめや不登校などをテーマに “全国附属学校養護教諭第32回研究協議会”を開く

全国の国立大学附属学校園に勤務する養護教諭が、年1回、お互いの実践を通して研究の交流を図る全国大会が、8月7・8日の2日間、市内のホテルを会場に開催された。

初日は開会式に引き続いて研究発表等があり、翌日には来賓として参加した文部省体育局学校健康教育課の三木とみ子教科調査官が、学校保健室の現状やあり方などについて、メンタルヘルス教育専門官の立場から特別講演を行った。

全国から参加した約130名の養護教諭らは、いじめや不登校などの問題に真剣に取り組んでいた。



開会式で挨拶する三木教科調査官  
=8月7日午前、ホリデイ・イン金沢(金沢市堀川町)で





## 「第11回遺伝子工学トレーニングコース(基礎技術)」を開催

「第11回遺伝子工学トレーニングコース(基礎技術)」が、遺伝子実験施設(宝町)で7月28日から8月2日までの6日間、行われた。

これは、大学・病院・試験所などの研究者・技術者を対象に、遺伝子工学に関する基礎知識と基礎技術を習得させ、将来行う組換えDNA実験の安全性を確保することを目的として毎年実施しているものである。今回は、計30名が参加し、夜遅くまで熱心に実習に取り組んだ。



遺伝子操作の実習を行う受講生たち  
= 7月30日午後、遺伝子実験施設で

## 7～8月の研修スナップ

### 平成9年度第1回文書実務研修

期 日：7月31日  
受講者：事務に従事する係長又は主任 25名  
場 所：事務局大会議室



小宮寛治氏(中新聞北陸本社)を講師に迎えての文書作成についての講義  
= 7月31日午後、事務局大会議室で

### 平成9年度東海・北陸地区国立学校等 教室系技術職員合同研修(電気・電子コース)

期 日：8月20日～22日  
受講者：東海・北陸地区国立学校等に勤務する  
教室系技術職員 23名  
場 所：金沢大学工学部(小立野)



熱心に実験を見守る受講生たち  
= 8月21日午後、電気・情報工学科棟素子工学薄膜デバイス作成室で

## 本学へのお客さま(7～8月)



サルフォード大学(英国)  
ツトラフコビッチ・モチロ・ミックキー教授  
= 7月31日、学長室で



ハリンチ ミョンカン  
幹林大学(韓国)池 明観日本学研究所長(中央右)ほか  
= 8月8日、学長室で



タフツ大学(米国)チャールズ・イノウエ教授(右から二人目)  
= 8月25日、学長室で



やすたに

## 保谷君に最優秀学生ポスター賞

—「第11回国際粘土学会で」—

6月にカナダのオタワで開催された「第11回国際粘土学会」のポスターセッションにおいて、本学理学研究科2年の保谷勲君が見事“最優秀学生ポスター賞”を獲得した。タイトルは「地滑りに関する粘土鉱物とNaCl溶液」で、地滑りに地中の食塩水が作用しているとする見解を示したものである。



発表したポスターを再現する保谷君  
= 9月3日午前，理学部(角間)地球学科で

## 附属病院で“七夕コンサート”

七夕を直前に控えた7月5日，医学部附属病院(宝町)で「七夕コンサート」が開かれた。

これは金沢市民合唱団38人による患者さんを励ますためのもので，団員たちは約150人の聴衆を前に全9曲を情感たっぷりに歌い上げた。

この日集まった聴衆のほとんどは入院患者さんで，日ごろ楽しみの少ない患者さんにとっては何よりの“七夕プレゼント”となった。



患者さんを前に合唱する金沢市民合唱団の方々  
= 7月5日午後，医学部附属病院外来診療棟1階で



### 国際交流協定締結大学(その7)

#### 蘇州大学(中国)

〔1997.1.22協定締結〕

蘇州大学は，金沢市と姉妹都市である蘇州市(中国江蘇省)にある総合大学で，1901年に創立された中国でも歴史のある大学の一つである。

メインキャンパスは蘇州市の旧市街にあり，新キャンパスは東の郊外，蘇州工業公園の近くにある。キャンパス間は約3km離れており，両キャンパス併せて学生数の合計は約13,000人である。なお同大学は，文，社会，政治，経済，法，外国語，数学，物理，化学，工，生物，体育の計12学部を擁している。

レンガ造りの“時計台”。この建物は，古くは大学本部として使用されていたが，現在は図書館となっている。  
(1997年1月 撮影：西田 勉)





## 一般向け広報資料，3種が完成

このたび、「データで見る金沢大学」(金沢大学広報資料No.11，庶務課研究協力・広報係作成)，「KANAZAWA UNIVERSITY AT A GLANCE」(同No.12，国際交流課作成)，「一般の社会人が金沢大学で学ぶには...」(同No.13，庶務課企画係作成)が出来上がり，学内外に配布された。特に広報資料No.12は，本学初の全学的な英語版リーフレットであり，様々なデータを表やグラフでカラフルにまとめている。



このほど完成した広報資料の表紙写真  
(お問い合わせは，各担当課・係まで)

## 安藤教授(理)と<sup>かなおか</sup>金岡教授(工)に研究費NEDOの“新規産業創造型提案公募事業”として採択

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が公募した本年度の“新規産業創造型提案公募事業”に，このほど本学の安藤敏夫教授(理学部)を代表とするグループと金岡千嘉男教授(工学部)を分担者とするグループが，それぞれ実施プロジェクトとして採択された。



安藤敏夫 教授(理)



金岡千嘉男 教授(工)

## 廣瀬教授(理)と佐々木助教授(教)「デーパーX線会議」最優秀論文賞受賞

8月4日から8日にかけてデーパー(アメリカ)で開催された「デーパーX線会議」において，本学の廣瀬幸雄教授(理)と佐々木敏彦助教授(教)が発表した論文「イメージングプレートを用いた複合材料のマクロ・ミクロ応力解析」が約300編の論文の中で最優秀賞を獲得した。



最優秀論文賞を受賞した廣瀬 幸雄 教授(理)と佐々木 敏彦 助教授(教)

## 編集後記

9月の声とともに朝夕めっきり涼しくなり，澄みきった空の色と虫の声に“秋”が感じられるようになってきた。

キャンパス内も夏休みを終えた学生が元気な顔を見せ，活気が戻ってきた。ただ，残念なのは，角間キャンパス内のアカンサス インターフェイス，大会館等の壁面に心無い者がスプレー等により落書きしたことである。

本頁でも注意を喚起したところであるが，今後二度とこのようなこと

が起きないように切に願うものである。

教職員の皆様も夏季休暇や年休を有効に活用して，心身のリフレッシュを図られ，気分一新して職務に取り組まれていると思う。

本学としても，創立50周年記念事業，総合移転第 期計画事業，附属病院整備計画(宝町地区再開発)等の諸課題を抱え，再選された岡田学長のリードの下に本格化する“秋の陣”に向けて心機一転がんばっていきたいと思う今日この頃である。  
(系金)

## 事務局・学生部からのお願い

事務局・学生部では，このほど，角間キャンパス内で落書きが行われたことに対して，下のようなポスターを掲示して再発の防止に努めるとともに，何らかの情報をお持ちの方にその提供を呼びかけている。

### お 願 い

8月14日(木)～15日(金)にかけて，角間キャンパス内の施設「アカンサス インターフェイス(連絡橋)」，大会館等の壁面に，スプレー等により落書きが行われました。

落書の箇所は数カ所に及んでおり，角間キャンパスの外観・イメージを著しく汚すもので，誠に遺憾であります。

については，今後このような稚拙な行為の再発を防ぐとともに，事件の解決を図るため，今回の落書きに関する情報を求めています。

何らかの情報をお持ちの方は，下記担当部署まで電話・FAX等により御連絡くださるようお願いいたします。

庶務課総務係	T E L : 264-5010
	F A X : 234-4010
学生課総務係	T E L : 264-5156
	F A X : 234-4040

金 沢 大 学



## 大学教育開放センター(角間)などを会場として「社会教育主事講習」を実施

(スタジオ キノシタ撮影)



平成9年度金沢大学社会教育主事講習(7月22日～8月28日)での集合写真。(7月28日午前、金沢大学標石(角間)前で撮影)  
この講習は文部省の委嘱事業であり、社会教育主事となるために必要な専門的知識・技能を修得しようと石川・富山・福井・岐阜の4県から102名の受講生が参加した。

## 「なごやか理学療法・作業療法一日体験」,「一日看護婦体験」 医学部附属病院で高校生が大奮闘!

医学部附属病院(宝町)で、7月29日に「なごやか理学療法・作業療法一日体験」(石川県理学療法士会・同作業療法士会主催)が、また同30日には「一日看護婦体験」(石川県厚生部主催)が、それぞれ高校生を対象に実施された。

前者には8名、後者には20名の高校生が参加し、「想像できなかった大変さを知ることができて良かった。」などと感想を述べていた。



患者さんの脈を確かめる「一日看護婦さん」(写真中央)  
= 7月30日、医学部附属病院第2病棟1階で



工作を通じて手の応用動作を試みる高校生  
= 7月29日、同病院第6病棟1階で



車椅子による移動動作を体験する高校生たち  
= 同上、同病院理学療法室前で

平成9年9月19日発行  
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-11 金沢市角間町  
金沢大学庶務部庶務課研究協力・広報係

TEL 076-264-5019  
FAX 076-234-4010

本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail) = [general1@kenroku.ipc.kanazawa-u.ac.jp](mailto:general1@kenroku.ipc.kanazawa-u.ac.jp) でも受け付けています。  
本紙の内容、その他本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ」(アドレス = <http://www.kanazawa-u.ac.jp>) でもご覧いただけます。

